

# Manma支援プログラム

	児発	放ディ
健康・生活	<p><b>生活に必要な基本的技能を身に付けます</b></p> <p>日常的な健康管理は特別なことではありません。日々のいのちの営みの中でやりとりをする、ひとつひとつの動きを一緒に丁寧に振り返ります。</p> <p>手洗いやうがいをしたら「きれいになって、かぜのばい菌やっつけたよ！」汗を拭いたら「気持ちいいね」「身体は汗をかくことで、熱くなった身体を冷ましているんだよ」と言語化しながら、肌感覚を実感しながら、日常生活に必要な知恵や習慣を身につけます。また、お掃除や整理整頓、調理など、生活に直結する営みを習慣化することで、自分で何でもできるスキルを身につけます。</p> <p>その瞬間ごとに感じた気持ちを共有し「分かってもらえた」など、安心して過ごせる環境の中で。</p>	<p><b>自分で気づいて取り組む力を養います</b></p> <p>日常の健康管理や生活動作を獲得し、自立して整えられるように支援します。</p> <p>ハンカチはもっているかな？シャツは出ていないかな？汗で濡れていないかな？気候はどうか？など、自分で気づき、整えられる力を育みます。また、お掃除や整理整頓、調理など、生活に直結する営みを習慣化することで、自分で何でもできるスキルを身につけます。</p> <p>心の健康の保持増進にも目を向け、安心して挑戦できる環境の中で小さな失敗の乗り越え方遊びのなかから学んでいきます。</p>
運動、感覚	<p><b>姿勢や動きの基本を育みます</b></p> <p>子どもは発達途中であるため、運動により脳が刺激され、未成熟であった構造がしっかりと育まれ、神経細胞及びグリア細胞が増殖。グリア細胞が増殖することにより、神経細胞から出ているニューロン同士の接合部分シナプスの接合が強化安定し、記憶などあらゆる機能が向上します【構造が機能を決定】</p> <p>日常生活に必要な基本的な姿勢や動き（手足を動かすことや立つ・座る・歩くこと）に必要な力を、遊びの中で自然に伸ばせるよう、<b>脳幹の発達を促す高ばいやすりばいを取り入れた運動遊びを行います【脳幹→体幹→体感（五感）】</b></p> <p>鬼ごっこや公園での外遊び、ボール遊びなどで体幹や体力の強化、ボディイメージを形成していきます。感覚特性をもつお子さんについては、快適に過ごせるにサポートしながら。</p> <p>様々な素材に触れる体験をすることで、環境を整えたり感覚に対する過敏さを和らげ、五感を養います。</p>	<p><b>姿勢や動きの基本を育みます</b></p> <p>子どもは発達途中であるため、運動により脳が刺激され、未成熟であった構造がしっかりと育まれ、神経細胞及びグリア細胞が増殖。グリア細胞が増殖することにより、神経細胞から出ているニューロン同士の接合部分シナプスの接合が強化安定し、記憶などあらゆる機能が向上します【構造が機能を決定】</p> <p>日常生活に必要な基本的な姿勢や動き（手足を動かすことや立つ・座る・歩くこと）に必要な力を、遊びの中で自然に伸ばせるよう、<b>脳幹の発達を促す高ばいやすりばいを取り入れた運動遊びを行います【脳幹→体幹→体感（五感）】</b></p> <p>鬼ごっこや公園での外遊び、ボール遊びなどで体幹や体力の強化、ボディイメージを形成していきます。体幹強化やバランス感覚を養うことは、学校生活にも生きるでしょう。感覚特性をもつお子さんについては、快適に過ごせるようサポートしながら。</p> <p>様々な素材に触れる体験をすることで、環境を整えたり感覚に対する過敏さを和らげ、五感を養います。</p>
認知・行動	<p><b>好きや得意を伸ばします</b></p> <p>選択遊びの時間を設けています。積み木や折り紙、塗り絵やレゴなど好きな遊びの中で空間認知力を養います。</p> <p>物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、大小、数、重さ、空間、時間等の概念の形成を図ることにより、それらを認知し、行動の手掛かりとして活用できるように。</p> <p>物の貸し借りや場所を譲るなど、相手と関わる中で必要なコミュニケーションを経験し、共に身につくように。</p>	<p><b>みんな違ってみんないいことに気付く</b></p> <p>選択遊びの時間を設けています。積み木や折り紙、塗り絵やレゴなど好きな遊びの中で空間認知力を養います。</p> <p>小集団の中で友達と関わり、人との適切な距離感、声の大きさ、言葉の選び方など、コミュニケーションが円滑に行えるように。</p> <p>年間を通してカレンダー作りをし、自分でスケジュール管理ができるように取り組んでいます。</p>
言語・コミュニケーション	<p><b>伝える・伝わる喜びを大切にします</b></p> <p>挨拶からはじまり、簡単な言葉のやり取りを積み重ねます。その中で伝わった喜びや嬉しさを感じ、また伝えたいという気持ちにつながっていきます。</p> <p>就学準備を見据え、カルタや絵本の読み聞かせなどを通し、言葉や文字への興味を深め、自ら学ぶ意欲を引き出します。</p>	<p><b>自分の思いを伝える力を養います</b></p> <p>自分の思いや困ったことなどを、言葉や身振り手振りで表現できるように。葉の選び方や声の大きさ、口調など、日々の関りの中で気づいたことを伝え、相手の気持ちを考えられるように。</p> <p>必要に応じて、絵カードなどの視覚支援を取り入れ、よりわかりやすく伝える工夫をしています。</p>
人間関係・社会性	<p><b>安心できる場を提供します</b></p> <p>気持ちを知ることから始め、言葉で表現できていない感情を言語化し、共有します。わかってもらうことで安心感を得たり、自分の感情に折り合いをつけたりできるように関わります。</p> <p>ごっこ遊び等を通して、人との関わりに必要なやり取りを体験し、掃除や整理整頓、調理など、生活に直結する営みを習慣化することで、細かなことに気づけ、してあげたいという利他の気持ちが育まれ、ありがとうございますと言われる喜びを体験し、社会性を育みます。</p>	<p><b>安心して自分を出せる場を一緒に作ります</b></p> <p>気持ちを知ることから始め、言葉で表現できていない感情を言語化し、共有します。わかってもらうことで安心感を得たり、自分の感情に折り合いをつけたりできるように関わります。相手の気持ちを理解し、他者と自分との違いに気づき、相手を受け入れられるように促します。</p> <p>公共の場へ外出し、挨拶やマナーなど、その場に応じた適切な行動ができるように。そして、ルールのある遊びを通して、なぜルールがあるのかを一緒に考え学びます。</p> <p>自分の行動の特徴を知り、得意なことは伸ばし、不得手なことは挑戦する根気を育み、互いを素晴らしい存在だと賞賛しあい、皆が心地よく自然体で過ごしながら、共に成長してゆけるように。</p>

## 主な行事

夏祭り、クリスマス、遠足、映画鑑賞、学童保育利用児との交流会

## 補足

自閉症・アスペルガー症候群・ADHD・LD・脳性まひ・てんかん・ダウン症・染色体異常…等々、障がいは、中枢（脳・脊髄）の神経回路が未発達な状態（ちゃんと繋がっていない・途中で切れている等）にあると、頭蓋仙骨療法や脳機能改善研究の分野では、考えられており

脳の中核のどこかに、捻れ・歪み・癒着などがあり（頭蓋仙骨療法では特に硬膜に着目するそうです）血液、脳脊髄液、ホルモン、気の流れが滞り、その結果十分な酸素や栄養が供給されず脳疲労から機能低下・誤作動を起こしている状態だと考察されています。

脳の中には数えきれないほど多くの神経回路（シナプス）がぎっしりと詰まっています。ほとんどすべての情報・刺激はごく簡単に説明すると、脳幹（延髄・橋・中脳）を通り、大脳に入って解析され、そして大脳から脳幹を通して末梢へ伝わっていきます。神経回路（シナプス）は、情報を送受信する大変重要な役割を持ちますが

脳が未発達であるということは、神経回路（シナプス）の数も少なくとも脆弱な状態です。これでは、情報を正確に大量に処理することも難しく、処理時間も長くかかります。その結果、日常生活で本人がしたくても出来ない、また時間も長くかかりすぎるので、学校や幼稚園・保育園でのクラスの進行についていけず遅れてしまうということになってしまうのです。

脳を成長・発達させるためには、神経回路（シナプス）の数を増やし太く強くする刺激を与えることが大変重要であり、中枢神経回路の再構築・強化を行なうことで、いのちに備わっている機能がきちんと発動するよう誘います。

- ①脳の6つの重要基本機能に着目し
- ②生物進化過程に伴う脳神経科学に基づき
- ③脳の「神経可塑性」を活発化させ

本来のパフォーマンスが発揮できるようになるよう

ひとりひとりの人生と向き合います。

（これを叶えるためには、各ご家庭での取り組みも重要になります）

### 【ひとの脳の6つの重要な基本機能】

- 1) 視覚機能：焦点が合っているか。どちらの目を使っているのか。
- 2) 聴覚機能：聴覚過敏ではないか。ちゃんと聞こえているか。耳で聞いたことを理解する力。
- 3) 触覚機能：身体のどこかに過敏な場所はないか。物の認知力。
- 4) 運動機能：身体の左右の協調性は。筋肉の過緊張、過弛緩は無い。バランス機能。正しい腹ばい、四つ這いで移動しているか。
- 5) 言語機能：言葉は何語出ているか。発音ははっきりしているか。
- 6) 手の機能：手の使い方のコーディネーション。両手はどのように使っているか。えんぴつの握り方・箸の持ち方などはどうか。

### 【生物進化過程に伴う脳神経科学に基づいて】

- ・脳幹部（延髄・橋・中脳）・小脳 = （爬虫類の脳）
  - 呼吸・体温・循環・嚥下・食欲調整・意識の維持・筋の緊張や姿勢反射など生命維持に欠かせない重要な営みを司る
- ・大脳旧皮質 = （古哺乳類の脳・辺縁系）
  - 情動にかかわる脳
- ・大脳新皮質 = （哺乳類・人間の脳）
  - 時間や概念を理解する働き・言葉や記憶を司る